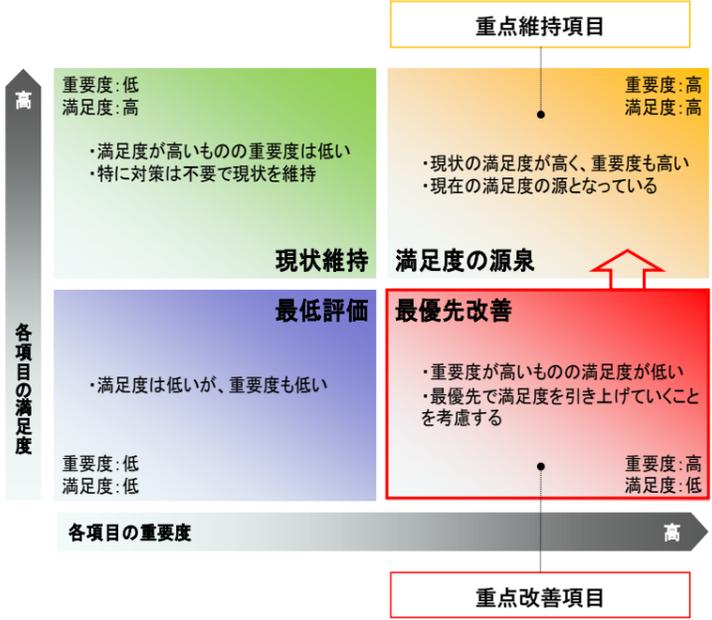


広陵町地域公共交通計画策定に係るアンケート調査について（案）

I.回答者の属性に関する設問	取得したいデータ		設問（案）	H26 同設問
設問の意図・目的 ・様々なプロフィールの方からバランスよく回答が得られているかを確認する。 ・年齢ごとや居住地域ごとの集計などクロス集計する場合の根拠にする。 ・自動車の利用・保有実態を確認する。 ・歩行可能距離から、公共交通でカバーすることが求められるエリアを分析する。	1	お住まいの小学校区	1. 広陵西小学校区 2. 広陵東小学校区 3. 広陵北小学校区 4. 真美ヶ丘第一小学校区 5. 真美ヶ丘第二小学校区	●
	2	年齢	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60～64歳 7. 65歳～74歳 8. 75歳以上	●
	3	家族構成	1. 1人暮らし 2. 2人暮らし 3. 3人以上	
	4	自家用車の保有	1. 自身で自由に運転できる車を持っている 2. 運転はできるが自身で自由に運転できる車を持ってない 3. 運転ができない（運転免許証の有無にかかわらず）	●
	5	運転免許の自主返納（運転に不安を感じるようになったら）	1. 自主返納する（した） 2. 自主返納しない 3. わからない	●
	6	歩行可能距離	1. 1km以上 2. 500m以上1km未満 3. 300m以上500m未満 4. 300m未満	
II.外出時の基本的な利用に関する設問	取得したいデータ		設問（案）	H26 同設問
設問の意図・目的 ・外出の目的や頻度、目的地等を確認することで、住民の日常行動の分析に活用する。 ・住民が抱える移動に関する様々な課題を明確にし、公共交通などのサービスの構築について検討する。 ・外出時に公共交通が利用できない、不便なので困るといった住民に対して、その外出の目的、代替方法を確認することで、潜在的需要の把握や、公共交通が担う役割を確認する。	1	外出の主な目的	1. 通勤 2. 通学 3. 買物・飲食 4. 通院 5. 公共施設利用 6. 趣味・娯楽 7. その他（ ）	●
	2	外出の頻度	1. 毎日 2. 週に5～6日 3. 週に3～4日 4. 週に1～2日 5. 月に2～3日 6. 月に1日以下 7. その他（ ）	●
	3	外出の目的地	【所在地】 1. 広陵町内 2. 大和高田市 3. 橿原市 4. 大阪市 5. 奈良市 6. 県内の市町 7. 大阪市以外の県外	●
	4	目的地までの交通手段	1. 鉄道（乗車駅：①大和高田駅 ②五位堂駅 ③箸尾駅 ④その他（ ）） 2. 奈良交通バス 3. 広陵元気号 4. 自分で車を運転 5. 家族等の車で送迎 6. タクシー 7. バイク・自転車 8. 徒歩 9. その他（ ）	●
	1	目的地までの交通手段が鉄道の場合の、駅までの交通手段	【1の場合】駅までの交通手段 1. 奈良交通バス 2. 広陵元気号 3. 家族等の車で送迎 4. 自分で運転し駐車 5. タクシー 6. 自転車 7. バイク 8. 徒歩 9. その他（ ）	●
	5	外出したい時に公共交通が利用できない、あるいは不便なので困ることがある	1. 困ることがよくある 2. 困ることがたまにある 3. 困ることはない	●
	1	どのような目的で外出する時に困るか	1. 通勤 2. 通学 3. 買物・飲食 4. 通院 5. 公共施設利用 6. 趣味・娯楽 7. その他（ ）	●
	2	困る時にどうしているか	1. タクシーを利用する 2. 家族の人に車で送ってもらう 3. 近所の人や知人の車で送ってもらう 4. 徒歩または自転車を利用する 5. 外出するのを控える 6. その他（ ）	●
III.バスの利用に関する設問	取得したいデータ		設問（案）	H26 同設問
設問の意図・目的 ・バス（路線バス/コミュニティバス）の利用実態を確認する。 ・バスを利用しない理由を整理し、課題を抽出する。 ・現行計画の評価指標の検証を含む。	1	バス（奈良交通or元気号）の利用	1. 日常的に利用する 2. ときどき利用する 3. 車やタクシーなどの利用ができないときに利用する 4. 天候が悪いとき（雨天など）に利用する 5. ほとんどあるいは全く利用しない	●
	1	バスを利用する理由	1. 他の交通手段よりも早く移動できるから 2. 他の交通手段よりも安く移動できるから 3. バス停が自宅や目的地の近くにあるから 4. 歩かなくて済むから 5. 自家用車などの交通手段がない、あるいは使えないから 6. その他（ ）	●
	2	利用するバスの種類	1. 奈良交通バス 2. 広陵元気号	●
	3	バスの料金	1. 無料になれば利用したい 2. 料金が安ければ利用したい →（ ）円くらいが良い 3. 料金は今のまま（1回100円～200円）でよい 4. 有料・無料に関わらず利用しない 5. わからない	●
	4	バスを利用しない理由	1. 運賃が高い 2. 運行本数が少ない 3. 家の近くにバス停がない 4. 自家用車の方が便利 5. 自転車の方が便利 6. 高齢、けが又は病気などの理由からバスを利用できない 7. その他（ ）	●

広陵町地域公共交通計画策定に係るアンケート調査について（案）

IV.CS（※1）（ポートフォリオ）分析に関する設問	取得したいデータ			設問（案）	H26 同設問				
<p>設問の意図・目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本町の地域公共交通等が提供するサービスについて、「現在のサービス内容に対する満足度」「今後のサービスを改善する場合の重要度」「今後の重要度」「不満の理由」「不満が改善された場合のサービス利用の有無」をサービス全体と個別の要因についてそれぞれ評価、確認する。 ・サービス全体の評価と個別の要因との相関関係や不満の理由、不満が解消された場合のサービス利用の有無の結果により、満足度の向上に影響が大きい個別の要因を抽出する。 ・現行計画の評価指標の検証を含む。 <p>※1 CS 顧客満足（Customer Satisfaction）</p> 	1	1	本数	<p>【現状のサービス内容に対する満足度】</p> <p>5. かなり満足 4. 概ね満足 3. 普通 2. 少し不満 1. かなり不満</p> <p>【今後のサービスを改善する場合の重要度】</p> <p>5. かなり重要 4. ある程度重要 3. どちらでもない 2. あまり重要でない 1. 全く重要でない</p>					
	鉄道	2	運行時刻（ダイヤ）			<p>【現状のサービス内容に対する満足度】</p> <p>5. かなり満足 4. 概ね満足 3. 普通 2. 少し不満 1. かなり不満</p> <p>【今後のサービスを改善する場合の重要度】</p> <p>5. かなり重要 4. ある程度重要 3. どちらでもない 2. あまり重要でない 1. 全く重要でない</p>			
		3	乗り継ぎのしやすさ						
		4	料金						
		5	定時性						
		6	駅施設の使いやすさ（待合施設やトイレなど）						
		7	鉄道の運行情報などの周知・広報						
		8	総合評価						
	タ ク シ ー	2	料金	<p>【現状のサービス内容に対する満足度】</p> <p>5. かなり満足 4. 概ね満足 3. 普通 2. 少し不満 1. かなり不満</p> <p>【今後のサービスを改善する場合の重要度】</p> <p>5. かなり重要 4. ある程度重要 3. どちらでもない 2. あまり重要でない 1. 全く重要でない</p>					
		3	車内の快適性						
		4	安全性（運転技術）						
		5	定時性						
		6	接客						
		7	総合評価						
	バス	便数	<p>【現状のサービス内容に対する満足度】</p> <p>5. かなり満足 4. 概ね満足 3. 普通 2. 少し不満 1. かなり不満</p> <p>【今後のサービスを改善する場合の重要度】</p> <p>5. かなり重要 4. ある程度重要 3. どちらでもない 2. あまり重要でない 1. 全く重要でない</p>						
	2	運行時刻（ダイヤ）							
	3	始発・終発の時間							
	4	ルート（目的地）							
	5	乗り継ぎのしやすさ							
	6	バス停までの距離							
	7	バス待ちの環境							
	8	バス停や車内での観光案内や周辺施設などの情報提供							
	9	料金							
	10	安全性（運転技術）							
	11	定時性							
	12	接客							
	13	バスの運行情報などの周知・広報							
	14	総合評価							
公共交通の総合的な満足度				5. かなり満足 4. 概ね満足 3. 普通 2. 少し不満 1. かなり不満					
V.ソーシャル・キャピタル（※）に関する設問	取得したいデータ			設問（案）	H26 同設問				
<p>設問の意図・目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャル・キャピタルは、社会・地域における人々の信頼関係や結びつきを表す概念であり、社会・地域における人々の信頼関係やネットワークを資本として捉えるもの。 ・地域の公共交通は、住民組織が主体的に、地域全体で利用することで、地域交通の維持につながると考えられるため、ソーシャル・キャピタルの地域間格差について明らかにする。 ・地域の特性を数値化することで、将来的な地域での取り組みを念頭に置いた地域力を評価する基礎資料とすることを目的とする。 <p>※ソーシャル・キャピタル 人々の強調行動を活発にすることによって、社会の効率性を高めることができる、「信頼」「規範」「ネットワーク」といった社会組織の特徴のこと。物的資本（physical Capital）や人的資本（Human Capital）などと並ぶ新しい概念</p>	1	1	ご近所つきあいできあっている人の数	1. かなり多くの人(20人程度以上)と面識・交流がある 2. ある程度の人(10人程度以上)と面識・交流がある 3. 限られた人(5人程度以上)と面識・交流がある 4. ごく少数の人(3人程度以下)とだけ面識・交流がある 5. 隣の人が誰も知らない					
	2	1	ご近所の方とのつきあいレベル	1. 生活面で全面的に協力 2. 日常的に立ち話をする程度 3. 必要な時だけつきあっている 4. あいさつ程度の最小限 5. 全くしていない					
	2	1	一般的に人は信頼できるか	1. ほとんどの人は信頼できる 2. まあまあ信用できる 3. どちらでもない 4. あまり信頼できない 5. ほとんど信頼できない					
	2	2	旅先や見知らぬ土地で出会う人は信頼できるか	1. ほとんどの人は信頼できる 2. まあまあ信用できる 3. どちらでもない 4. あまり信頼できない 5. ほとんど信頼できない					
	3	1	お住まいの地域の地域活動の状況	1. とても活発だ 2. まあまあ活発だ 3. ふつうだ 4. あまり活発ではない 5. 活発ではない 6. わからない					
	3	2	自身の地域活動への参加状況	1. 積極的に参加している 2. まあまあ積極的に参加している 3. 必要に応じて参加している 4. あまり参加していない 5. 参加していない					
	3	3	自身の今後の地域活動への参加意向	1. 積極的に参加したい 2. まあまあ積極的に参加したい 3. 必要に応じて参加したい 4. あまり参加したくない 5. 参加したくない					
	VI.自由意見	取得したいデータ			設問（案）	H26 同設問			
	・広陵町の地域公共交通に関する自由な意見を把握する。	-				●			